



同志社ローム記念館プロジェクトポリシー

同志社ローム記念館は、ローム株式会社の寄付に基づき設立された学校法人同志社の共通施設です。当館を拠点とした「同志社ローム記念館プロジェクト」は、次のようなポリシーで運営しています。

プロジェクトポリシー

同志社ローム記念館プロジェクトは、IT・メディアテクノロジーを創造的に活用した「メディアフロンティア」を目指す、未来の文化創造を担う人物を育成するため、次のような方針でプロジェクトを展開します。

- ・IT・メディアテクノロジーを活用するプロジェクト
- ・新しいものやしぐみを創り出し、社会活動へ活かすことを目指すプロジェクト
- ・学生・生徒が主体的に取り組むプロジェクト

プロジェクト活動では、自己とプロジェクトチーム、自己と社会について考える機会を提供し、活動および成果の質向上を目指します。

求める人物像

同志社ローム記念館プロジェクトでは、活動を通して多様な学びを得ることができます。次のような姿勢で活動に取り組むプロジェクトメンバーが参加することを望みます。

- ・IT・メディアテクノロジーの活用やデジタルコンテンツの作成に、興味・関心を持つ人
- ・プロジェクト活動を通して自己実現をはかるとともに、プロジェクトのより高い成果を目指す人
- ・自己の成長を目指し、プロジェクトチームの一員として主体的に取り組む人

目指す人物像

同志社ローム記念館プロジェクトの活動により、次のような人物の育成を目指します。

- ・プロジェクトテーマやその関連分野についての知見を得て、IT・メディアテクノロジーやデジタルコンテンツ作成の分野においてリードする人物となる素養を身につけている。
- ・さまざまな活動において、自ら目標設定ができ、高い志をもって取り組める。
- ・社会生活において、自らの経験や知識を活かし、他者と連携して主体的に活動できる。